

## 平成30年度 カリキュラム表

## 《講演会》

企画・監修 田中 克 京都大学名誉教授

回次	開催日	講師	演題
1	H30 4/14	田中 克 京都大学名誉教授 舞根森里海研究所長	2018年度自然学講座のねらい-森里海連環による有明海再生への道
2	4/28	田中 丈裕 NPO法人里海づくり研究会議事務局長	瀬戸内海における里海づくり30年の歩み:新たな未来へ
3	5/12	永井 雄人 NPO法人白神山地を守る会代表	白神山地のブナ林を守り、育む
4	5/26	椎葉 勝 椎葉焼畑蕎麦苦楽部代表	宮崎県椎葉の山奥で焼畑を続け、源流域を守る
5	6/9	池上 惇 京都大学名誉教授	遠野のふるさと学校が開く未来:文化資本論序論
6	6/23	吉永 郁生 鳥取環境大学環境学部教授	微生物生態学から森里海の地域創生までを展望する
7	7/14	藤崎 憲治 京都大学名誉教授	昆虫ミメティクス:驚異の生理・形態・生態から学ぶ
8	7/28	上 真一 広島大学生物圏科学研究科特任教授	海はクラゲだらけになるのか? 大発生之谜
9	8/25	橋本 みのり 大東文化大学環境創造学部准教授	線路を覆い尽くすキシヤステの大発生
10	9/8	佐藤 正典 鹿児島大学理工学研究科教授	干潟の小さな生き物たちの大きな役割
11	9/22	小林 朋道 鳥取環境大学環境学部教授	身近な動物たちの行動学
12	10/13	遠藤 光 鹿児島大学水産学部助教	海の森:海藻群落の生態と磯やけ
13	10/27	山崎 亨 アジア猛禽類ネットワーク会長	びわ湖の森の守り神:風の精イヌワシと森の精クマタカ
14	11/10	細谷 和海 近畿大学農学部教授	守ろう日本の淡水魚:外来魚に脅かされる日本の水辺の生物多様性
15	11/24	和田 敏裕 福島大学環境放射能研究所准教授	福島県における水産物の放射能汚染の現状と漁業の復興状況
16	12/8	養父 信夫 (一社)UMI-SACHI推進会議代表理事	神宿る宗像の海づくり:UMI・SACHI 推進会議の挑戦
17	H31 1/12	新山 陽子 立命館大学経済学部教授	日本農業再生への道:食品市場と日本農業
18	1/26	鷲尾 圭司 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事	日本漁業再生への道:瀬戸内海を例に
19	2/9	竹内 典之 京都大学名誉教授	日本林業再生への道:人工林問題
20	2/23	田中 克 京都大学名誉教授 舞根森里海研究所所長	森里海連環学と森は海の恋人の協同によるつながりの価値観の再構築

※ 日程・講師・テーマ・講演会場を変更することがあります。

## 《自然観察会》

指導:田中 克 京都大学名誉教授

実施時期	観察内容	行先
4月15日~16日	有明海干潟再生実験とアサリ収穫祭(平方宣清さん)	佐賀県太良町(自主企画)
5月16日, 30日	ゆりかご水田とホンモロコの産卵観察(藤岡康弘さん)	滋賀県能登川周辺
6月12日~14日	瀬戸内海の里海づくりを学ぶ(田中丈裕さん、松田治さん)	岡山県備前市日生
7月16日~18日	白神山地のブナ林を守る活動を学ぶ(永井雄人さん)	青森県青森市
8月2日~5日	焼畑農業に見る森里海つながり(椎葉 勝さん)	宮崎県椎葉村・高千穂村
9月14日~17日	遠野のふるさと学校と震災復興の大槌を訪ねる(池上 惇さん、小西晴子さん)	岩手県遠野市・大槌町
10月30日、31日	針江生水の郷とピワマスの産卵見学((藤岡康弘さん)	滋賀県安曇川周辺
1月13日~18日	パラオの海に遊び森里海を体感する(江崎貴久さん)	パラオ共和国

※1 日程を変更することがあります。 ※2 受講料とは別に参加費が必要です。 ※3 5月・10月の琵琶湖観察会は希望者多数の場合、2回実施する予定です。